

2023年10月 会山行 「太田山神社」 山行・参拝記録

日程：2023年10月15日（日） 天気：晴れ/気温 14~16℃位 ほぼ無風

往復：1.6 km 所要3時間18分、登り1時間50分、下り48分（1時間40分、山頂本殿までの待機及び休憩時間）登り420m、下り438m

6：30 伊達道の駅集合→9：15 太田山神社鳥居口→11：06 本殿→下山→12：15 太田山神社鳥居口→12：30 昼食→13：00 太田山神社拝殿（道内最古の灯台）→13：30 大成郷土館→14：10 北檜山若松→16：40 伊達道の駅解散

メンバー：A 藤（CL）、O 山内（SL 装備）、M 江（SL）、U 佐美（体操）、O 田、O 川（会計）、Y 重樫、M 川、S 田、U 杉（記録）計10名



快晴の中、車内から先週登った狩場岳を眺めながらにんまり。そして、反対側に見える遊楽部岳にも登ってみたいと想いを馳せる。今年は山岳会のお陰で素敵な山にたくさん登ることができた。改めて感謝。

さらに、念願叶って今日は太田山神社。北海道で一番古い神社で参拝すれば、これからもいい山に登れそうだとご利益に期待する。



踵がはみ出るくらいの幅の狭い急な階段からスタート。さすが、日本一危険な場所にある神社だ。急こう配の長い石段に腰が引けて、ロープや手摺りを掴みながら139段を慎重に登った。斜度は平均45度で、最高は50度らしい。スキージャンプの選手が滑り降りる斜度よりきつい。石段を上り終わると、次は本殿までずっと急登が続く。参道の途中、崖の下にお地藏様がいる場所や女人堂を通過。先日の低気圧の影響か、倒木により、登山道が崩れている場所もあったが、有名な神社だけあり登山道は整備されていた。

ついにロッククライミングのような岩肌が見える場所に到着。ここで、安全確保のためのハーネスの準備をし、荷物をデポして本殿を目指す。本殿への最終ゲートをくぐると北尋坊の崖がそびえ立ち、初めて太田山神社に挑戦する仲間と、今まで見たことのない景色に歓声（驚愕の声！）を上げてしまう。

右側は谷底……。落ちたらヘリコプターも来られないような場所だ。



一人一人、谷底にかかる荒廃した橋を慎重に登りながら、最後の約7mの鎖場へ。恐ろしさを感じつつも、ロープが我が身を守ってくれていると思うと、不思議と足が進んだ。

リーダー、サブリーダーのお陰で全員本殿へ到着。岩穴からは、青く澄んだ日本海、奥尻島まで見渡せた。一人では来られなかったと改めて感謝する。しかし、この場所にご本堂を建てた先人は本当にすごい。下山後は日本海を眺めながらの昼食。その後、拝殿参りと郷土資料館へ行き、改めて太田山神社の歴史や先人の思いを知る。さらに、リーダーA藤さんの新ジャガイモの詰め放題というサプライズ。さっそくご利益をいただいた。道南の秋を満喫し、達成感にあふれた山行となった。



これからも安全で楽しい山登りができますように！
(*^^)v

今回も大変お世話になりました。ありがとうございました。

記録 U 杉

